



図書室だより

『四がつ』 金子みすゞ

あたらしい ごほん、
あたらしい かばんに。

あたらしい はっぱ、
あたらしい えだに。

あたらしい おひさま、
あたらしい そらに。

あたらしい 四がつ、
あたらしい 四がつ。



こちらはCMで話題になりました金子みすゞの『四がつ』という詩です。
春の喜びにあふれた詩で、白方小学校の児童のみなさんにぴったりの詩ではないでしょうか。

春日和の頃、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の図書館教育にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

白方小学校図書室は、図書室オリエンテーション後に通常貸出を始めます。ぜひ「心の栄養」となる楽しい本を見つけてください。

子どもと本のパートナーになりませんか？ ～ボランティア募集について～

昨年度に続きまして、本年度もボランティアを募集したいと思います。
募集するボランティアは下記の二つになります。

- 読み聞かせボランティア = 朝の読みきかせやおはなし会の参加
- 図書ボランティア = 児童へ贈るしおりや本の修理、貸し出し作業のお手伝いへの参加

参加申し込みは別紙にて募集します。児童のみなさんと共に、ボランティアの方も楽しい活動ができるよう考えております。多くの方のご協力をお願い申し上げます。

「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業とは

「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業とは、読書を通して自分の生き方を見つめ、創造力や表現力を豊かにすることを目的として、茨城県が平成13年度から取り組んでいる事業です。

- 小学生版「みんなにすすめたい一冊の本」(図書の紹介本)を活用して1年間に50冊読んだ小学校4・5・6年生に、茨城県教育委員会教育長から賞状が授与されます。
- 小学生版「みんなにすすめたい一冊の本」(図書の紹介本)を活用して1年間に300冊読んだ小学校4・5・6年生には、茨城県知事からの賞状が授与されます。

この活動は読書冊数を競うものではありません。読書を楽しみ、心や生き方を豊かにすることが目的です。

感受性が豊かな小学生のときに、たくさんの本とふれあうことは大きな財産です。どの本をいつ読んだのか読書記録を残し、1年間に50冊を目標に読書に親しんでみてはいかがでしょうか？

<おすすめの本>

今回は毎日新聞が調査している「学校読書調査」を元に、おすすめの本を紹介します。

(1) 最近一か月の間に読んだ本 (2009年5月 小学生4・5・6年)

			
男子タイトル別1位: 「日本の歴史」	男子カテゴリ別1位: 「かいけつゾロリ」シリーズ	女子タイトル別1位: 「不思議の国のアリス」	女子カテゴリ別1位: 「怪談レストラン」シリーズ

(2) 小学生が感動したり、印象に残ったりした本 (2000年 直近の調査)

				
1位: 「フランダースの犬」	2位: 「五体不満足」	3位: 「ハッピーバースデー」	4位: 「ヘレンケラー」	5位: 「エルマー」シリーズ